

○カタログ掲載青果について放射能自主検査の結果をお伝えします。
○新規ご利用の組合員さんへ:初回利用から7週間までは全員に配付しておりますが、7週を過ぎますと自動的に停止します。継続配付をご希望の方は、注文番号「190888」を記入の上お申し込みいただければ2週目から配付されます。タペソダでは紙でのお届けをしておりません。インターネットでのご確認をお願いします。
○配付中止をご希望の場合は、「190900」を注文の際にご記入ください。ご記入後2週間で配付が停止いたします。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果物	大粒・中粒ぶどう	ぶどう類で検査済	あいづ・フルーツ山梨・ふえふき・青木・ながの・中野
	キウイ	検査予定	狭山・やはた会・久望
	梨	品目で検査済	うもれ木の会・ふくしま梨ネット
		検査予定	増野・上伊那
	みかん	品目で検査済	小田原
		検査予定	久望
	洋なし	品目で検査済	天童・さくらんぼひがしね・錦の会
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
		検査予定	錦の会
	果菜	青大豆	品目で検査済
いんげん		品目で検査済	あいづ・二本松・元気会
		果菜類で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・佐久ゆうき
きゅうり		品目で検査済	新しいわて・夢みなみ・あいづ・みちのく野菜・茨城・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・佐原・サンド旭・いちかわ・和郷
		果菜類で検査済	谷田部・たまつくり・沃土
トマト		品目で検査済	八峰園・あいづ・みちのく野菜・谷田部・野菜くらぶ・八街
		果菜類で検査済	夢みなみ・茨城・たまつくり・元気会・村悟空・佐原・サンド旭
なす		果菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷
ピーマン		品目で検査済	あいづ・沃土
		果菜類で検査済	谷田部・茨城・八街・和郷
ミニトマト	品目で検査済	庄内たがわ・茨城・あゆみの会・元気会	
	果菜類で検査済	あいづ・野菜くらぶ・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・八街・和郷・風土の会・佐久ゆうき・ながの	
葉菜	大葉	品目で検査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	土屋・海上
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・常総産直・野菜くらぶ・佐原・八街・和郷・菅平・トップリバー・ハヶ岳モグラ会
	クレソン	品目で検査済	フォレストファーム
	小松菜	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ会・草の会・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会
		葉菜類で検査済	茨城・たまつくり・和郷
		検査予定	やさと
		品目で検査済	トップリバー
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・菅平
	春菊	葉菜類で検査済	夢みなみ・たまつくり・レインボー・沃土・村悟空・佐原・八街・グットファーム
チンゲン菜	品目で検査済	あゆみの会・遠州	
	葉菜類で検査済	茨城・沃土・佐原・和郷	
にら	品目で検査済	元気会	
葉菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ・和郷		

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況		
えのき茸	品目で検査済	飯山	
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ	
なめこ	品目で検査済	谷田部	
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部	
まいたけ	品目で検査済	雪国	
マッシュルーム	品目で検査済	村悟空・三蔵	
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *しいたけ・しめじから放射能が検出されました	

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2016/9/21	3.3
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/6/21	3.5
谷田部の若手生産者きのこセットのしめじ			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*8/23にしめじ(ひらたけ)を検査では不検出でした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト きなり	258 311 ひき肉と春雨のオイスターソース炒めセットのしいたけ	2016/9/5	6.7
コトコト きなり	262 310 341088 ポリリュームたつぷりマールボー春雨セットのしいたけ	2016/9/21	3.3
コトコト きなり	266 307 341096 焼き酢豚セットのしいたけ水煮	2016/9/5	6.4
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

* スペースの都合上、産地の県名は省略しています。
* 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州 17 都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
* 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
* 検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
* yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています

●青果以外の牛肉・卵・食肉類・米 および、加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒以外は検査対象外とさせていただきます。

福島第一原発事故特有の問題「汚染水」 2

世界で起こった原発事故の中で、福島第一原発事故の特有の問題は、「汚染水」です。
地下水は、地下に流れる大きな川のようなものです。それをせき止め、処理をするという必要があります。深く地中から発生している阿武隈山地があり、原発で発生する汚染水は、人口密集地の方へは流れず、すべて海の方へ流れるようになっていきます。

魚類の放射能検査結果

- 東京電力発表の検査結果

東京電力が「魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所 20km県内海域>(同所港湾内を除く)」を2016年8月24日に最新データを発表しています。検査核種はセシウム 134・セシウム 137 で、定期的に福島第一原発付近の魚介類を採取して、放射能検査を実施しています。検体数 89 件中 28 件で検出がありました。検出割合は31%で、検出平均値は7.7Bq/kg、検出値の最高値は小高区沖合 15km付近で採取されたイシガレイで、26.7Bq/kg でした。
検出されている魚種は、コモンカスベ、パナカレイ(ナメタガレイ)、ヒラメ、スズキ、アイナメ、マゴチ、ガザミ、ムシガレイ、マコガレイ、サメで、ほとんどが浅い海底に生息している魚類でした。

- 今後は？

汚染水に近い、海域での放射能の検出は、最高で 26.7Bq/kg でした。検出された魚の寿命はあまり正確にわかっていませんが、短いもので 2 年程度、長いものと 18 年くらいとされています。汚染水の影響なのか、震災直後に大量に流れ出た放射能によるものなのかはわかりません。
検査された魚類の中には、生態的地位の高いサメ類やマダイも含まれますが、放射能はほとんどが不検出でした。
震災当時の放射能は海底土に吸着している可能性も高く、海水中は溶出したり、海藻に取り込まれる可能性は低いといえます。しかし、どのようなルートで魚の身体に入り込むかはわからないのと、その放射能を蓄えたままの魚がどの程度の範囲を回遊していくのかは不明な点も多くあります。
検査をしている魚介類を利用することをお勧めします。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 998)」(2015/7/19～2016/9/9 で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された品目は以下の通りです

ショウゲンジ(きのこ):山梨県鳴沢村 280 Bq/kg
アカヤマドリ:宮城県村田村 200・210Bq/kg
オオカシワギタケ(きのこ):山梨県鳴沢村 140 Bq/kg
クマ肉:岩手県陸前高田市 120Bq/kg

国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

牛肉:岩手県滝沢市・盛岡市 12～20Bq/kg
アンズタケ:山梨県富士吉田市 98Bq/kg
オオカシワギタケ:山梨県富士吉田市・富士河口湖町 70・71Bq/kg
ヌメリササタケ:山梨県鳴沢村 62Bq/kg
ホウキタケ:山梨県鳴沢村・富士吉田市・茨城県大子町 44～55Bq/kg
原木シイタケ:茨城県常陸大宮市・栃木県鹿沼市ほか 1.8～46Bq/kg
マツタケ:山梨県鳴沢村・富士吉田市・長野県小諸市 9.2～46Bq/kg
クロカワ:山梨県鳴沢村・富士河口湖町 29・35Bq/kg
ナラタケ:山梨県鳴沢村 33Bq/kg
アユ:宮城県阿武隈川(丸森町)・帷子尼川(丸森町) 6～21Bq/kg
イワナ:宮城県栗原市(三迫川支流) 11～56Bq/kg
ツキノワグマ肉:新潟県湯沢町 7.8～44Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

クリ:福島県広野市 7.2～49Bq/kg
ブナハリタケ:福島県三島町 49 Bq/kg
イシガレイ:福島県いわき市 22 Bq/kg
アユ:福島県福島市・伊達市(阿武隈川) 19・21Bq/kg
ウグイ:福島県郡山市猪苗代湖・舟津川(阿賀川水系) 19・20Bq/kg

- 国立医薬品食品衛生研究所で流通品を検査し、基準値セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された品目は以下の通りです

アカヤマドリ:宮城県の流通品 220 Bq/kg
シイタケ:宮城県の流通品 100 Bq/kg
乾燥わらび:宮城県の流通品 120 Bq/kg

国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

タマゴタケ:宮城県の流通品 85Bq/kg
ウワバミソウの実:宮城県の流通品 13～85Bq/kg
ナラタケ:宮城県の流通品 34 Bq/kg

計測されていない、または計測結果を公開していない食品および天然の川魚やジビエ、山菜、きのこ類などに注意してください。

8月～9月の放射能検査状況

8月は、しいたけは原木しいたけから3件(5. 5、6. 4、6. 8Bq/kg)、お料理セットのしいたけから1件(3. 6Bq/kg)の検出がありました。
9月は、16日までで、しいたけは原木しいたけから1件(5. 4Bq/kg)、お料理セットのしいたけから2件(6. 4、6. 7Bq/kg)の検出がありました。放射能の検出はありませんでした。
乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。
検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)					
	8月	9月		8月	9月
青果	53 (0)	20 (0)	卵	0 (0)	0 (0)
しいたけ	6 (4)	4 (3)	魚介類	18 (0)	4 (0)
他のきのこ類	8 (0)	5 (0)	飲料水・飲料	2 (0)	1 (0)
米・米飯類	1 (0)	12 (0)	乳幼児用食品	15 (0)	1 (0)
牛乳・乳製品	5 (0)	7 (0)	その他加工食品	122 (0)	88 (0)
肉類	0 (0)	0 (0)	合計	230 (4)	142 (3)

2016年度の放射能検査の状況

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3. 2 Bq/kg が検出されました。2016年1月に小田原の伊予柑から5. 3 Bq/kg、2016年2月に小田原のはっさくから4. 8Bq/kg が検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけ(3. 1～24Bq/kg)、しめじ(3. 5Bq/kg)で放射能が自主基準内で検出されました。しめじ(ひらたけ)は、8/23 の検査では、不検出でした。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査が始まりました。千葉県君津市のJA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり、茨城県のJAつくば市谷田部の茨城こしひかり、新潟県のJA北蒲みなみの新潟こしひかり、JAささかみの新潟こしいぶきを検査し、すべて不検出でした。 * 2016 年産米については、千葉ふさおとめを皮切りに、北海道を除く東日本の産直産地のお米を供給前に玄米で検査を行います。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査しており、今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。2015年度は現在まで魚からの検出がありませんでしたので、放射性ストロンチウムの検査は行っておりません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っておりますが、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけ(3. 4～11Bq/kg)とまいたけ(3. 4～17Bq/kg)から自主基準内ですが検出されています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。

パルシステムの放射能検査について

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50 100	一般食品 100
しいたけ	100		

* 乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134,137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

新規加入の組合員みなさんへ

新しく加入された組合員のみなさんには初回ご利用から 7 週間「放射能関係のお知らせ」をお届けしています。継続配付をご希望の方は注文番号 **190888** でお申し込みください。タベソダではお届けしておりません。(申込 1 回で、中止手続きされるまで配付されます)

* 「放射能関係のお知らせ」が静電気の影響で数枚入ってしまうことがあります。ご了承ください。